

# 取組み報告書

令和7年度 福山市介護職員等負担軽減支援アドバイザー派遣事業

【社会福祉法人内海福社会 特別養護老人ホームむつみ苑】



一般社団法人  
日本福祉用具供給協会  
中国支部 広島県ブロック

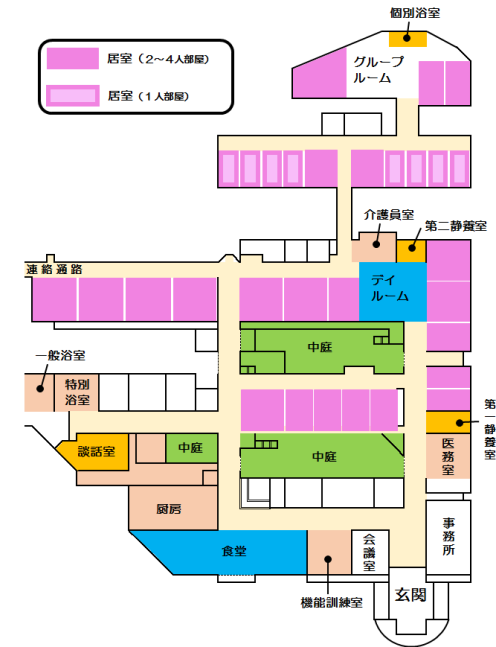
# 施設の概要

---



一般社団法人  
日本福祉用具供給協会  
中国支部 広島県ブロック

# 施設の概要



施設名	社会福祉法人内海福祉会 特別養護老人ホームむつみ苑
施設種別	介護老人福祉施設
定員	68名
開設日	1993年7月
所在地	福山市内海町口2825-3

# 取組みの流れ

---



一般社団法人  
日本福祉用具供給協会  
中国支部 広島県ブロック

# 取組みの流れ

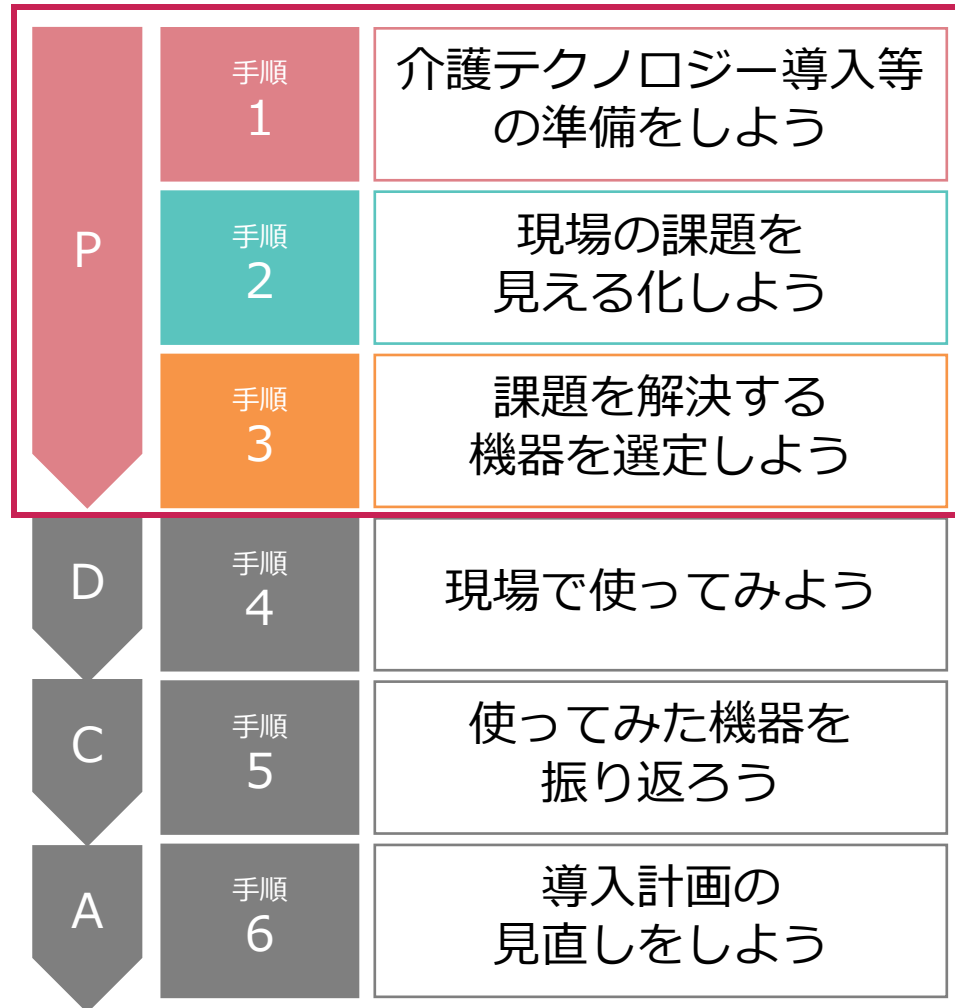
## 取組の流れ

## 具体的な取組み内容

	取組の流れ	具体的な取組み内容	
P	手順 1 介護テクノロジー導入等の準備をしよう	<ul style="list-style-type: none"><li>現在の課題の抽出、再確認。</li><li>すでに導入している機器について、うまくいっていること、そうでないことを確認。</li><li>ここから先、やっていきたいことの共通認識を持つ。</li></ul>	7月下旬
	手順 2 現場の課題を 見える化しよう		
	手順 3 課題を解決する 機器を選定しよう		
D	手順 4 現場で使ってみよう	<ul style="list-style-type: none"><li>抽出した課題解決に資する別の機器を取り寄せ、可能な限り、現場で試用する。</li></ul>	8月下旬
C	手順 5 使ってみた機器を 振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"><li>実際に機器を使用した職員からのヒアリング等を実施し、試用した機器の評価を行う。</li></ul>	9月中旬
A	手順 6 導入計画の 見直しをしよう	<ul style="list-style-type: none"><li>今まで試用した機器の再評価、検証を行い、導入機器の確定を行う。</li></ul>	

# 取組みの結果

## 取組の流れ



# 手順1 介護テクノロジー導入等の準備をしよう

## 実施内容

- 過年度、介護テクノロジーを導入した際のメンバーを中心に、現状把握を実施。
- 現在取り入れている機器の良い点、悪い点について協議。
- 上記の他、試用した機器に関する評価も実施。今後の機器選定の参考にする。
- 今後目指す体制（状況）について共通認識を持つ。



# 手順2 現場の課題を見える化しよう

## 実施内容

---

- 生産性向上の取組みを行う中心メンバーによる職員へのヒアリングを踏まえ、課題の抽出、取りまとめ。

## 見える化された課題

---

- 既に導入した見守り機器に関しては、効果を実感しており、現在の台数（3台）では足りない。全床に広げていくことで、一層の業務改善に努めていきたい。
- インカムと音声入力（介護記録）が一体となっているシステムを導入しているが、音声で入力する機会が少ない。モバイルデバイスで入力した方が早い。
- インカム機能に関しては、タイムラグが生じてしまい、タイムリーな情報共有ができないことがある。
- 上記の結果、走って対象の職員を探すことがある。
- そもそも、上記のシステムが、上手に利用しきれていない。
- 施設が広く、Wifiを利用するタイプのインカムでないと、途中で途切れてしまう。
- モバイルデバイスの数も5台しかなく、少ない。
- 子機、端末の数はあまり増やしたくない。どれがなっているのか分からなくなる。

# 手順3 課題を解決する機器を選定しよう

## 今回選んだ解決したい課題

---

- ・ インカム等の機器を利用して、タイムリーな情報共有を行いたい。

## その理由・背景

---

- ・ 今まさに困っている時のコミュニケーションに、ワンテンポ遅れが出てしまうことで、業務に支障をきたしてしまっている、という職員の声が多かった。

## 課題に対する現状

---

- ・ タイムラグなくつながることのできるインカムの導入を検討。また、聞き逃し等のリスクを補うことのできる機能を付与し、抜け漏れを防ぐ。

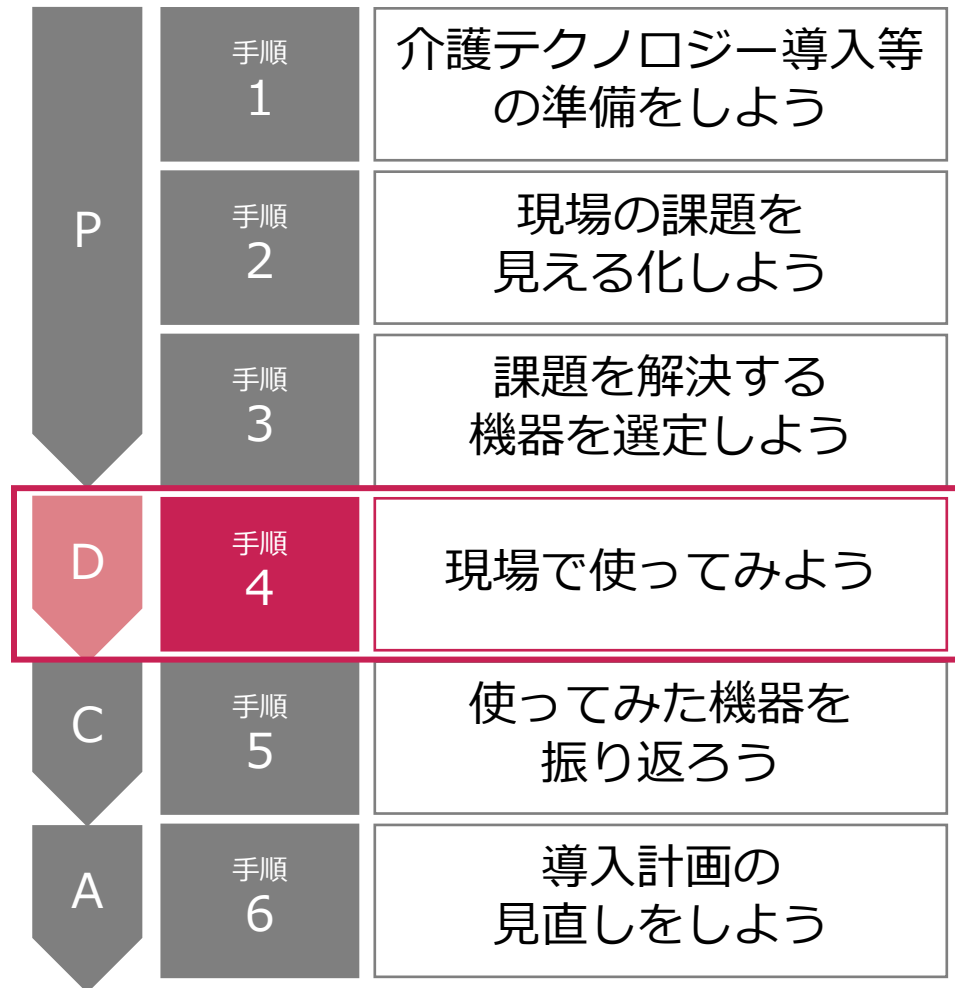
## 解決した後の姿（目標）

---

- ・ コミュニケーションが円滑になり、情報共有がよりスムーズになっている。
- ・ これにより、業務がよりスムーズに進めることができる。

# 取組みの結果

## 取組の流れ



# 手順4 現場で使ってみよう

## 実施内容

- 選定を深化させるため、今まで試用した機器に加え、別のインカムを試用する。

体験機器（バディコム） URL : <https://buddycom.net/>



# 取組みの結果

## 取組の流れ



# 手順5 使ってみた機器を振り返ろう

## 使用した結果（確認方法）

---

- 実際に試用した職員からのヒアリングを実施し、機器の評価を行う。

## 集まった現場の声

---

- ボタンを押して話すという操作で、扱いが簡単。
- タイムラグなく会話ができること、また、聞き逃してもチャットに記録が残り、文字と音声で会話履歴を確認することができ、とても良い。
- 右左の装着を変更することのできるインカムもよかった。
- 骨伝導のヘッドセットは現在も使い慣れているため、違和感なく使える。
- ただ、ボタン部分が大きいのが多少の難点。もう少し小さければありがたい。
- アプリをインストールして使用するため、端末が増えないことも高評価。

# 取組みの結果

## 取組の流れ

P	手順 1	介護テクノロジー導入等の準備をしよう
	手順 2	現場の課題を 見える化しよう
	手順 3	課題を解決する 機器を選定しよう
D	手順 4	現場で使ってみよう
C	手順 5	使ってみた機器を 振り返ろう
A	手順 6	導入計画の 見直しをしよう

# 手順6 導入計画の見直しをしよう

## 振り返りを踏まえた今後の活動

---

- 現在の取組み（見守り機器の導入）いかんによって、優先順位が変わる。
- 変わったとしても、職員のニーズ（インカムがあった方がよい）ことに変わりはないため、導入に向けた準備を進める。

## 全体の総括（導入チームから）

---

施設内でのICTの導入状況と使用状況からむつみ苑に適している機器（ボディコム）を紹介していただき、通話に特化したクリアトークカムかスマホアプリのボディコムが選択肢ができたことが良かったです。  
実際に使用して使い勝手や導入したときの課題、ニーズがわかり導入後のイメージを持つことができました。

# まとめ

## 全体を通してのコメント（アドバイザーより）

この度は、令和7年度福山市介護職員等負担軽減アドバイザー派遣事業にエントリーいただき、誠にありがとうございました。  
今までの取組みが次の改善活動につながっている取り組み事例であると思っています。  
お打ち合わせの際に出ていた、「実はノーリフトにも取り組みたい」「職員の体も大切。長く勤めてもらえるような工夫も必要」といった「こんなこともしたい」といった意欲が、今後の大きな改善（施設全体に影響する改善活動）につながっていきます。  
是非、現在行っていらっしゃる小さな改善活動を繰り返し、継続して行ってください。



一般社団法人  
日本福祉用具供給協会  
中国支部 広島県ブロック